

## 第 61 回 日本学生科学賞東京都大会で多数入賞 (化学研究会)20171028

第 61 回日本学生科学賞東京都大会（読売新聞社主催）において、中学の部 6 点、高校の部 3 点が入賞しました。入賞件数では都内最多、最優秀賞も昨年に続けての受賞となりました。

日本学生科学賞は昭和 32 年に創設された、中学・高校生の理科分野の公募コンクールとしては最も伝統と権威があります。高校の部で最優秀賞を受賞した「無電解ニッケルメッキの研究」は、11 月に行われる全国審査に進むことが決まりました。1 年間続けてきた研究が認められたことを、嬉しく思います。

化学研究会では、今回の受賞を糧にさらに研究を進め、様々な場面で成果を発表して参ります。今後の成果にも、是非ご期待ください。



日本プレスセンターホールで行われた表彰式に参加しました

### 入賞した研究

#### 最優秀賞

高校の部 無電解ニッケルメッキの研究 5 年（個人研究）

#### 優秀賞

高校の部 簡便なカフェインの定量法 4 年（個人研究）

#### 努力賞

高校の部 スライムを用いた PF の作成 5 年（個人研究）

中学の部 酢酸エチルの収集率向上について 2 年（2 名共同研究）

中学の部 よく弾むシャボン玉の研究 1 年（個人研究）

#### 奨励賞

中学の部 BZ 反応 2 年（個人研究）

中学の部 化学カイロの実験 2 年（2 名共同研究）

中学の部 TLC を用いた色素の分離 1 年（2 名共同研究）

中学の部 カルピスを中和滴定する 1 年（9 名共同研究）